

2017 兵庫県クラブユース新人戦

決勝 フレスカ神戸 - イルソーレ小野

準決勝をインテル相手に 3-0 で勝利したフレスカと 1-1 の PK 戦の末、神戸 FC に勝利したイルソーレとの決勝戦となった。

互いに 4-3-3 でスタートし、イルソーレは④②を中心に DF ラインからシューパスとドリブルで攻撃の組み立てを図るが、フレスカの前線からの積極的な守備の前に、前線にボールを届けることができない。

前半 9 分フレスカの⑮の背後への浮かせたパスに⑩が抜け出しシュート、こぼれ球を⑤が詰めて先制。徐々にイルソーレのボール保持が長くなるが、15 分⑩CK から②がヘディングで合わせてフレスカが追加点。

その後もフレスカがイルソーレ陣地でボールを奪い攻撃につなげるシーンが続きチャンスを演出。2-0 のまま前半終了。

後半 4 分右サイドを突破した⑭のクロスをゴール前まで駆け上がっていた左 SB②が決め 3 点目。続く 9 分ペナルティエリア内で⑭が倒され PK、⑭が冷静に決め 4 点目

13 分、19 分にも⑩、⑭が得点を奪い 6-0 とゲームを決定づけた。

一矢を報いたいイルソーレだったが最後まで決定機をつくる事が出来ずに試合終了。

1 試合を通じて、フレスカの守備からの攻撃の切り替えが早くボールを奪ってからのスピーディーで効果的な仕掛けにより何度もチャンスをつくった。又、全員が守備の意識も非常に高く、終始フレスカの良さが目立った決勝戦になった。

最優秀選手には攻守において豊富な運動量と的確な判断のもと何度もチャンスを演出した⑩の藤田 仁朗選手が獲得した。

決勝は大差のゲームになったが、1 月から開幕するトップリーグにおいても、両チームの兵庫県を引っ張っていく活躍を期待しています。そして兵庫から全国の舞台で活躍するチームが出てくることを楽しみにしています。

兵庫県クラブユース連盟

理事長 倉 直樹